

都市の緑3表彰 受賞者決定

「第40回緑の都市賞」「第31回緑の環境プラン大賞」「第19回屋上・壁面緑化技術コンクール」

緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体、企業等を表彰します

(公財)都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的とした3つの表彰事業「都市の緑3表彰」を実施しております。このたび、厳正な審査の結果、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の受賞者を決定いたしました。

第40回緑の都市賞 《内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、他》

1981(昭和56)年に創設。緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを生かした環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰します。(P2-P4)

第31回緑の環境プラン大賞《国土交通大臣賞、他》

1990(平成2)年に創設。同年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえ、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行います。(P5-P8)

第19回 屋上・壁面緑化技術コンクール《国土交通大臣賞、環境大臣賞、他》

2002(平成14)年に創設。都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、地方公共団体、個人等を表彰します。(P9-P12)

※例年「みどりの『わ』交流のつどい-都市の緑三賞表彰式-」にて、表彰状の授与を執り行っておりますが、誠に残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度は中止とさせていただくこととなりました。

主催 (公財)都市緑化機構：会長 矢野龍 東京都千代田区神田神保町 3-2-4

(一財)第一生命財団：理事長 斎藤勝利 東京都千代田区平河町 1-2-10 ※

※ 緑の環境プラン大賞主催

特別協賛 第一生命保険株式会社：代表取締役社長 稲垣精二 東京都千代田区有楽町 1-13-1

第40回 緑の都市賞 受賞団体

応募総数27件、第一次審査会：令和2年9月9日、第二次審査会9月30日

◎内閣総理大臣賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑のまちづくり部門	ガーデンシティ えにわ (北海道恵庭市)	恵庭市	1961年に地元有志によって設立された「花いっぱい文化協会」の設立をきっかけに、大通りや商店街、駅等の公共施設、個人の庭に至るまで花と緑の美しいまちを作り上げ、オープンガーデンの魅力が楽しめる「恵み野花マップ」を作成するなど、市民、生産者、専門家、行政が一体となった取り組みとなっている。	

◎国土交通大臣賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	緑の文化を 生かした 心を繋ぐ復興 (宮城県岩沼市)	玉浦西まちづくり 住民協議会	東日本大震災から9年。津波により、家族・家・生業の場を失いながらも沿岸部の旧6集落が力を合わせて取り組んだ新たなまちづくり。郷土の文化的景観といえる居久根に囲まれた緑豊かな原風景の再生とコミュニティの絆を何よりも大切にしたい住民総出の活動により震災復興を超え、次世代に繋がる取り組みとなっている。	
緑の事業活動部門	The Okura Tokyo ランドスケープ (東京都港区)	株式会社ホテルオークラ/葵町特定目的会社/株式会社谷口建築設計研究所/大成建設株式会社一級建築士事務所	モダニズムと優美な日本美の融合した名作といわれるホテルの建て替えに際し、武蔵野台地の崖線と、「坂」の有する土地の記憶を掘り起こし、新たなランドスケープを創り出したプロジェクトである。敷地の約半分を地域に開放し、四季折々の樹木、芝生広場が配された。豊かな文化的資産を後世に伝える「志」と、時空を繋ぐ「坂」が、大銀杏をシンボルとして据えられている。「都市計画霊南坂公園」の思想を継承し、地域との協働により格調の高い空間へと、磨きあげていくことが期待される。	
緑の事業活動部門	南町田グラン ベリーパーク (東京都町田市)	東急株式会社/東急電鉄株式会社/町田市	駅に直結した大規模な都市公園と商業施設が隣り合う本エリアの立地特性を最大限に活かし、鉄道事業者と行政が共同して駅前空間の魅力を再構築することで、都市における緑と賑わいの融合と、人口減少・超高齢化を迎える郊外住宅地の持続的発展を目指したプロジェクトに官民共同で取り組んでいる。	

◎都市緑化機構会長賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	ふる里の山 大火災 災害防 止、花・木の森 へ再生活動 (長野県松本市)	NPO法人 浅間 温泉木の絆会	大音寺山は平成14年3月大火災が発生。急峻な里山の焼け野山の姿を見て、山再生の植樹活動に地域住民も参加し実施。植樹は岩山で穴が十分に掘れず水くれも難行する厳しい状況であったが、9年かけての里山づくりにより、四季を楽しめる場所を地域住民、関係部門との協働により実現している。	
緑の市民協働部門	不法投棄多発 の堂々川を 観光地に変えた ボランティア (広島県福山市)	堂々川ホタル 同好会	江戸時代築造で国の登録有形文化財の砂留は、草木に覆われ、不法投棄で荒れ果てていた。そこで、草刈りや清掃活動等行うとともに、彼岸花を近隣の小学生などと植栽する活動を開始。蘇った川にはホタルが舞い、花とホタルの里となり、観光客を集めるまでになっている。	
緑の事業活動部門	横浜ゴム株式 会社新城工場 「千年の杜」 (愛知県新城市)	横浜ゴム 株式会社 新城工場	横浜ゴム(株)では、国内外の生産・販売拠点に苗木を植え 56 万本を超える植樹を「YOKOHAMA 千年の杜」として実施してきた。当該工場では、4.7 万本を植樹し、15 万本の苗を地域や団体・学校等に提供するとともに、植樹指導を行い、地域と一体となった杜づくりに取り組んでいる。	

◎奨励賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	海と山と加太 プロジェクト ～海のための 緑化事業～ (和歌山県和歌山市)	加太観光協会	伝統漁法により持続可能な漁業に取り組んできたが、大規模な森林開拓で海中の環境は大きく変わってしまった。そこで「森は海の恋人」を合言葉に、地道な森林整備活動を始めている。「世界一のアジサイ園を目指す」植樹活動には県内外から、幅広い参加者も得て実施している。	
緑のまちづくり部門	花と緑の ガーデン都市 づくり (岩手県盛岡市)	盛岡市	平成 16 年度から、「花と緑のガーデン都市づくり事業」による、ハンギングバスケットを軸とした、市民・事業者・行政の協働による花と緑があふれるまちづくりに取り組んでおり、公共空間へのハンギングバスケット設置数で日本一となるまでの広がりを見せている。	

第40回 緑の都市賞 概要

■ 目的

緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進にあたり個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている地方公共団体を顕彰することにより都市緑化普及啓発の推進、地球にやさしい生活環境の保全、創出を図り、もって緑豊かな安全、快適な都市の実現に寄与することを目的としています。

■ 募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格:主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するもの
緑の事業活動部門	応募資格:主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるもの ・NPO法人等でも、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含む ・学校や病院等で、業者委託として緑地の整備や管理を行っているものも含む
緑のまちづくり部門	応募資格:主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているもの

■ 表彰

内閣総理大臣賞	1点	[副賞20万円(活動助成金)]
国土交通大臣賞	3点以内	[副賞15万円(活動助成金)]
都市緑化機構会長賞	3点以内	[副賞10万円(活動助成金)]
奨励賞	若干	[副賞5万円(活動助成金)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■ スケジュール

募集期間 2020年4月1日～6月30日

入選発表 2020年10月22日

審査会 一次：2020年9月9日 二次：9月30日

■ 審査委員

委員長	樺山 紘一	印刷博物館 館長
委員	池邊 このみ	千葉大学 園芸学部園芸学研究所 教授
	石川 幹子	中央大学 研究開発機構 機構教授
	瓜生 宗大	第一生命保険株式会社 取締役常務執行役員
	榊 真一	国土交通省 都市局長
	佐藤 滋	早稲田大学 名誉教授
	野口 智子	ゆとり研究所・NPO法人スローライフジャパン 所長・副理事長
	涌井 史郎	東京都市大学 特別教授
	柳野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■ 主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構

後 援：国土交通省，総務省，環境省，全国知事会，全国市長会，全国町村会

特別協賛：第一生命保険株式会社

協 力：日本商工会議所，公益社団法人日本青年会議所，一般社団法人日本公園緑地協会，一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会，一般財団法人公園財団，一般財団法人日本造園修景協会，一般財団法人日本緑化センター，公益財団法人河川財団，一般社団法人日本建設業連合会

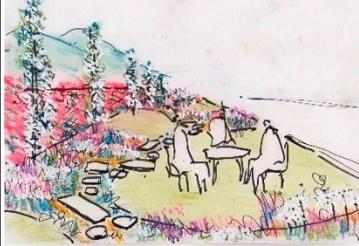
第31回 緑の環境プラン大賞 受賞団体

応募総数33件、審査会：2020年9月17日

◎国土交通大臣賞 [2点]

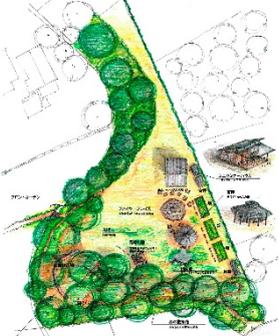
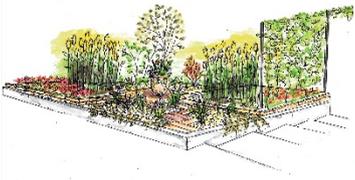
部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	笑顔はぐくむころの森ガーデン (宮城県石巻市)	特定非営利活動法人 ころの森	国営石巻南浜復興祈念公園の市民活動拠点のシンボルとして、「復興の思いとともに、笑顔はぐくむ」空間を創出する。種から育てた40種の木々と、8つの花を中心に、地域固有の森の姿を復活させる。多世代の笑顔をはぐくみ、みんなのころの交流ができる森のガーデンを目指す。	
ポケット・ガーデン	芝のはらっぱ (東京都港区)	芝のはらっぱ 実行委員会	住民の憩いと交流の場として、日除け棚や屋根付きデッキ等を作り、地域住民参加型でのシンボルツリー植樹、植栽やコミュニティ菜園づくり等を行う。また、まち歩きによる地域の園芸文化や歴史の再発見、地域住民が自宅で育てた植木鉢を持ち寄る「まちの庭」企画等を行う。	

◎緑化大賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	農家の庭に学ぶ「持続可能な都市ガーデン」 (京都府亀岡市)	株式会社 ユニマツリック	地元農家の庭の植物や不要な石材を利用してローメンテナンスな都市環境を形成し、みどりの文化を感じることでできる拠点を亀岡駅前に創造する。地域住民や学生のボランティアで行うメンテナンス活動を通じ、地域づくりにも取り組む。	
シンボル・ガーデン	みどりのゆりかご～豊福の生き物と子供たちを育む庭～ (熊本県宇城市)	豊福地域・ 農の未来創造協議会	熊本地震の復旧が進む一方、子どもたちの遊び場や生物たちの住処が失われつつある。そこで、未活用地を里山のような「循環型の庭」に再生し、幅広い世代の人たちが手で触れ、関わり合いながら生物を保全し、子どもたちの遊びと学びの機会を創出する。	

◎コミュニティ大賞 [9点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	地域の遊び場 ・憩いの場 かけはしパノラマ 屋上ガーデン (北海道帯広市)	社会医療法人北斗 十勝自立支援センター 介護老人保健施設 かけはし	施設のある一帯を「北斗福祉村」と名付け、「新たなコミュニティの創出」「地域共生」をテーマとして取り組んでいる。本プランは周囲を広く見渡せる当施設の屋上を緑あふれる場所とすることで「多世代交流の促進」、「地域における憩いの場、楽しみの場の創出」、「地域への愛着につながる場の創出」等につなげることを目的としている。	
ポケット・ガーデン	うわのまち つどいのつじ ガーデン (栃木県鹿沼市)	有限会社 ウイステリア エステート	往時は「さつき盆栽」の生産地として県内外から盆栽愛好家を集めたが、現在は休耕地となり、一部は所有者が趣味の園芸を楽しむ小さな庭になっている。気軽に立ち寄り緑を楽しめる設えにはなっていない庭を、地域に開かれ、地域とともにつくる「つどいのつじガーデン」として改修する。	
ポケット・ガーデン	米山南町会 花いっぱい活動 (栃木県佐野市)	佐野市 米山南町会	町内の中央に位置する公園に花壇を作り、1年中花のある公園にしていく。花が咲き誇る公園があることで地域が明るくなり、公園で遊ぶ子ども達、ウォーキングや犬の散歩に訪れる人々やグランドゴルフを楽しむ高齢者に憩いの環境を提供する。	
ポケット・ガーデン	花園公園 レイズドベッド プロジェクト (千葉県千葉市)	NPO法人 緑のきずな プロジェクト	本来、公園の花壇の草花は持ち帰ることができないが、このレイズドベッドは、市民が草花に触れ、香りを感じて、気になったら持ち帰っても良いレイズドベッドとなっている。園芸療法も取り入れ、子供の健全育成、高齢者の健康寿命を伸ばす取り組み、地域のコミュニティ作りを目指す。	 <p>今まで作ったレイズドベッドを基に、市立稲毛区立稲葉中学校の生徒達にデザインしてもらい 絵や写真を貼る予定です</p>
ポケット・ガーデン	オーガニック ・エディブル ・コミュニティ ガーデン多摩 (東京都多摩市)	恵泉女学園大学 人間社会学部 社会園芸学科	高齢者の外出機会、住民同士がつながる機会を創出するためにコミュニティガーデンを設置する。食べられる多種多様な植物も植栽し、オーガニック栽培を行う。また、レイズドベッドを導入することで、車いすの人も、その他の住民も作業や植物に触れることを容易にする。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	まち・里・ひとが繋がる♪ 梅檀野コミュニティガーデン (富山県砺波市)	せんだんの 梅檀野 自治振興会	地区の少子化により今春惜しまれながら閉園になった梅檀野幼稚園は、来春から地域内外の人たちが集う新しい地域コミュニティの形『(仮称)シェアせんだんの』として再スタートする。身近な自然と触れ合い、食育、環境教育の場となる野外コミュニティセンターを目指す。	
ポケット・ガーデン	地域に拓けた「屋根緑化」と「空中アート」で共生環境へ！ (長野県北佐久郡)	株式会社 チャレンジド ジャパン	緑化プロジェクトの予定地は、知的障がい者の自立支援を目的とした施設「ラッタラツタル」。同施設では入所者が支援者とともにデザイン制作から商品化まで行っている。本プロジェクトを実現することで地域に拓けた相互理解の場所になることを目的とする。	
ポケット・ガーデン	数世代の人々が憩う中で子供を育てる聖隷の森づくり (静岡県浜松市)	聖隷クリストファー 大学附属 クリストファー こども園	多様な福祉施設、幼保小中高大の教育機関や医療施設に囲まれ、その関係者や地域住民が自由に自然を満喫できる緑豊かな環境を整備する。訪れる数世代の人たちと子供たちが森の中で交流し、自然の変化の中で、子供たちは五感を磨き、自然への対応力を育み、生きる力を身に付けることを目的としている。	
ポケット・ガーデン	僕たちの発信緑！ ～郵便局から緑の風をお届けします～ (京都府南丹市)	京都府立 農芸高等学校	本校は生徒が積極的に地域の課題に取り組むことで、地域社会に貢献することを目指している。本プランは、生徒が学んだ造園に関する専門的な知識・技術を駆使し、市民が集い憩うコミュニティガーデンにおいて快適な緑化空間を作り、緑化推進の場として提供し、生徒の日頃の学習成果の発表と地域貢献の場とするものである。	

第 31 回 緑の環境プラン大賞 の概要

■ 目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図り、生活の質の向上やコミュニティの醸成等につなげるものです。

■ 募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	地域のシンボリックな緑地として、緑のもつヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。

■ 表彰

● シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞800万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	2点程度	副賞800万円以内（工事に対する助成金）

● ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）
コミュニティ大賞	9点程度	副賞100万円以内（工事に対する助成金）

■ 審査委員

委員長	進士 五十八	福井県立大学 学長 / 東京農業大学 名誉教授
委員	金子 忠一	東京農業大学 教授
	榎 真一	国土交通省 都市局長
	鈴木 裕一	株式会社産業経済新聞社 上席執行役員
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント
	村上 暁信	筑波大学 システム情報系 教授
	稲垣 精二	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	小野 文夫	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	椰野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間 2020年4月1日～6月30日 入選発表 2020年10月22日
 審査会 2020年9月17日

■ 主催等

主催：公益財団法人都市緑化機構，一般財団法人第一生命財団
 後援：国土交通省，環境省，全国知事会，全国市長会，全国町村会
 特別協賛：第一生命保険株式会社
 協力：一般社団法人建設広報協会，一般社団法人日本公園緑地協会，
 一般社団法人日本造園建設業協会，都市緑化基金等連絡協議会
 株式会社フジテレビジョン，株式会社産業経済新聞社，株式会社ニッポン放送

第19回「屋上・壁面緑化技術コンクール」受賞団体

応募総数7件（屋上緑化部門:3件、壁面・特殊緑化部門:2件、特定テーマ部門:2件）
 審査委員会:令和2年9月15日

◎国土交通大臣賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	早稲田大学 37号館 早稲田 アリーナ (東京都新宿区)	株式会社山下設計/清水建設株式会社/設計組織プレイスメディア/イビデングリーンテック株式会社/学校法人早稲田大学キャンパス企画部	本作品は多機能型スポーツアリーナを中心としたラーニングcommons等を内包する大学施設の緑化である。建物の大半を地下に埋設し、その地表にパブリックスペース「戸山の丘」を整備した。地域の生態系の強化や、キャンパス全体の知的生産性向上等に寄与するだけでなく、ZEB Readyを達成している。	

◎環境大臣賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	横浜北幸ビル (神奈川県横浜市)	東神開発株式会社/東急不動産株式会社/中村拓志 & NAP 建築設計事務所/株式会社東急設計コンサルタント/西松建設株式会社/株式会社石勝エクステリア	本作品はイベントホール、カルチャースクール、分譲マンションからなる複合施設の緑化である。豊富な緑を有するステップガーデンは、日常と緑の融合した生活環境を印象付けている。空中回廊は、山手の豊かな緑と屋上緑化(ガーデン)を見下ろす体験を視覚的に想起させ、他では見られない特徴である。	

◎日本経済新聞社賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
壁面・特殊緑化部門	HAMACHO HOTEL & APARTMENTS (東京都中央区)	安田不動産株式会社/株式会社松田平田設計/UDS株式会社/the range design INC./AOYAMA NOMURA DESIGN + 株式会社乃村工藝社/SOLSO/株式会社イケガミ	本作品はホテルと賃貸住宅からなる複合施設の緑化である。建物外壁に最大5mの高木を立体的に配置したバルコニー緑化は、個性的で存在感のある外観を生み出している。多様な樹種・樹高の植栽を組み合わせ、宿泊者に自然なままの植生の印象を与え、緑に囲まれた温かみと広がりのある客室空間を演出している。	 @樹ナカサンドパートナーズ

◎都市緑化機構会長賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	東京医科大学病院 (東京都新宿区)	学校法人東京医科大学/ 株式会社大林組	本作品は新宿副都心に建つ大学付属病院の緑化である。“みどりの箱(壁面緑化)”や“彩りの丘(リズムカルガーデン)”を整備し、自然を感じることのできる庭園として、利用者に“優しさ”や“癒し”を与えている。花・葉・実が季節ごとに色づく多様な樹種を選定し、一年中変化し続けながら楽しめる庭園を実現している。	
壁面・特殊緑化部門	ESR市川ディスプレイセンター (千葉県市川市)	ESR株式会社/渡辺美緒デザイン事務所合同会社	本作品は国内最大級のマルチテナント物流施設の緑化である。耐潮性を有し、デザイン的に表情がつけやすい種で構成されている。地域的背景に基づき、100年前の海岸線を抽象的に表現した植栽デザインは、季節や時の経過とともに、姿を変える植物と海岸線の移ろいを表現している。	

◎奨励賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
特定テーマ部門	裾野市立鈴木図書館風の広場屋上花壇 (静岡県裾野市)	裾野市環境緑花事業協同組合	本作品は教育施設の屋上部分に、地方創生事業の一環として開発した薄層屋上緑化技術FSGシステムにて整備された緑化である。盆栽の技術を活用した樹木生産方法により高さ3mまでの中高木が植栽可能である。細根とネットが絡みついて土壌と一体化することで、風速30m/hまで対応可能となっている。	

第19回 屋上・壁面緑化技術コンクール 概要

■目的

屋上等特殊空間の緑化について、意欲的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、屋上等特殊空間の緑化技術の一層の普及推進を図り、もって環境の改善を進め、豊かな都市生活の実現に寄与することを目的としています。

■応募対象

屋上緑化部門	建築物の屋上、屋根の緑化
壁面・特殊緑化部門	①建築物の壁面の緑化 ②土木構造物の壁面(高架道路壁面、擁壁等)の緑化 ③土木構造物の高架(道路・鉄道高架部分、橋等)上・下空間の緑化 ④屋内(アトリウム、室内、地下空間等)、ペランダの緑化 ⑤その他通常の方法では緑化が困難な空間の緑化
特定テーマ部門 「小規模空間の緑化」	屋上緑化部門、壁面・特殊緑化部門に準ずる、応募作品の面積が300㎡以下の緑化

・応募作品の完成時期:2019年3月31日までに完成したもの。

■表彰

表彰	表彰者	部門と表彰作品数	適用
国土交通大臣賞	国土交通大臣	異なる部門から2点以内	土木・建築計画、都市計画等の視点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品
環境大臣賞	環境大臣		生物多様性、環境への配慮等の視点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品
日本経済新聞社賞	日本経済新聞社		特に優れた作品
都市緑化機構会長賞	都市緑化機構会長	全部門から1～2点以内	技術水準が高く、優れた作品
奨励賞	審査委員長	特定テーマ部門のみ1点	地域の課題解決に資し、緑化による先駆な取り組みが優れた作品

■スケジュール

募集期間 2020年4月1日～6月30日 入選発表 2020年10月22日
審査委員会 2020年9月15日

■審査委員

委員長	山田 宏之	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
委員	井上 洋	一般財団法人ダイバーシティ研究所 参与
	今村 芳恵	一般財団法人日本建築センター 理事
	瓜生 宗大	第一生命保険株式会社 取締役常務執行役員
	佐々木 大輔	日経BP社日経アーキテクチュア編集長
	鹿野 央	国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室 室長
	仙田 満	東京工業大学 名誉教授
	森本 幸裕	京都大学 名誉教授
	山本 郷史	環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室 室長
	山崎 誠子	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科 准教授
	柳野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■主催・後援等

- ・主催:公益財団法人都市緑化機構
- ・後援:国土交通省、環境省、東京都、日本経済新聞社
- ・特別協賛:第一生命保険株式会社、協賛:住友林業株式会社
- ・協力:一般財団法人公園財団、公益財団法人都市計画協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日

本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本造園組合連合会、一般社団法人日本植木協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、公益社団法人日本造園学会、一般社団法人日本ビルヂング協会連合会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本宝くじ協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟、公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター